

令和4年11月2日
九州地方整備局
九州技術事務所

無人化・ICT施工操作訓練を開催します！

～無人化施工、ICT施工の活用促進を目指して～

九州地方整備局及び九州技術事務所では、災害現場における遠隔操縦式重機のオペレーター不足や技術力の維持などの課題に対応すべく、「無人化施工訓練」を平成27年度より行ってきました。一方で、建設業界における、生産性の向上を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）に向けた取り組みが急務となっています。

そのような中、「**遠隔操縦式建設機械**」操作訓練及びICT施工技術の普及促進を図るべく「**インフラDX体験**」を実施します。

記

- ・日時：令和4年11月9日(水) 9:00 ～ 16:30
 - ・会場：長崎県南島原市深江町地先
(水無川2号堰堤内、大野木場砂防みらい館)
- ※小雨決行

■取材方法

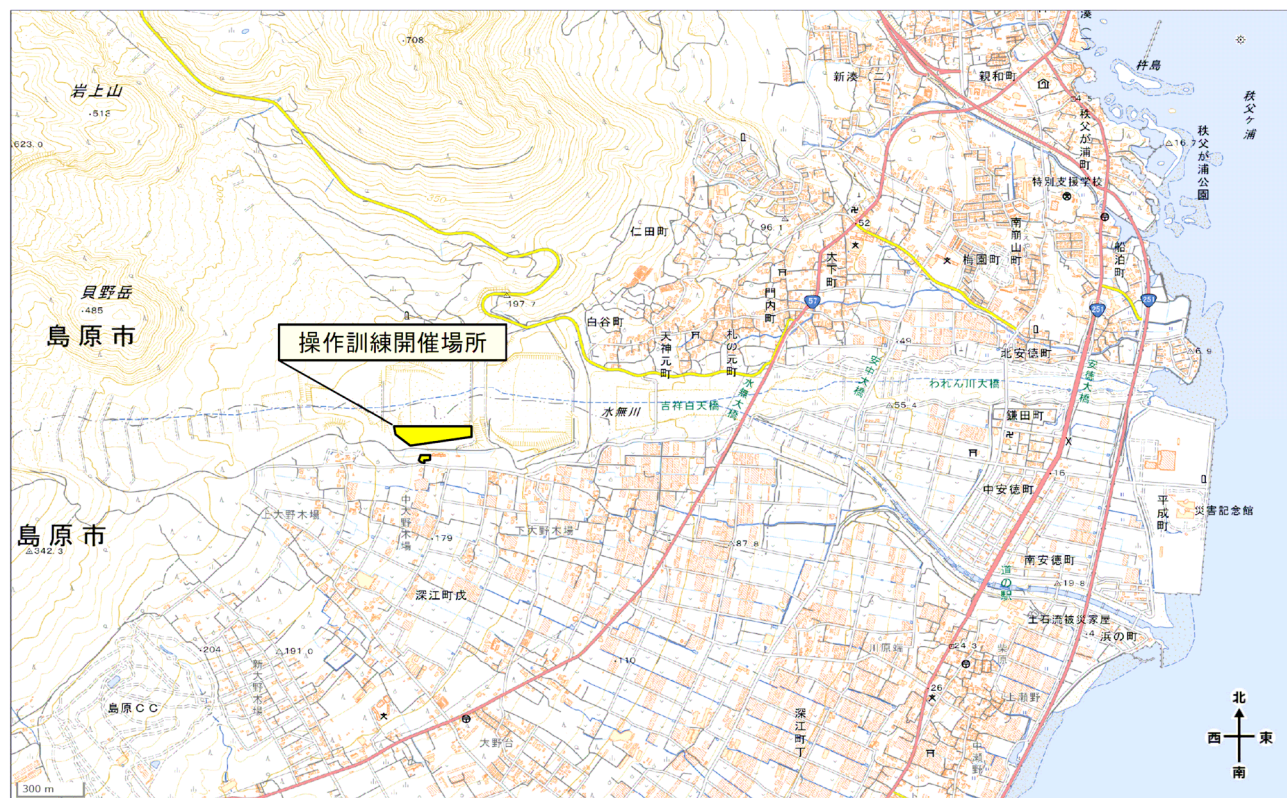
- ・写真、映像等取材可能です。
- ・取材日時は原則として以下のとおりです。

11月9日(水)	9:20頃～9:40頃	概要説明等
	9:40頃以降	操作訓練の状況を自由に取材可能
- ※9時までに1階入口で受付をお済ませください。
- ※コロナ感染防止対策のため発熱(37.5℃)等ある方はご退室頂く場合があります。
- ・操作訓練では重機が動きます。安全確保の観点から、取材にあたっては係員の指示に従って下さい。
- ・取材当日は動きやすい服装及び靴(運動靴等)でお越し下さい。また、訓練会場ではヘルメットが必要ですのでご持参願います。
- ・多数の方が来場されますので、取材であることが分かるよう腕章等の着用をお願いします。

【問合せ先】

国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所（久留米市高野1丁目3番1号）
技術活用・人材育成課 建設専門官 榎田 昭二（えのきだ しょうじ）
TEL 0942-32-8245（代表）

開催場所位置図



無人化施工・ICT施工の活用促進を目指した研修内容の検討

九州地方整備局
九州技術事務所

○九州技術事務所では、平成27年度から、災害時等の危険な状況下において、安全に災害対応ができるよう無人化施工を実施することができる民間の無人化施工従事者（主にオペレーター）の育成を推進。

●令和4年度は、遠隔操縦式バックホウ及び遠隔操縦式クローラダンプの操作訓練を実施。
バックホウ及びクローラダンプの単独の他、バックホウとクローラダンプの連携による無人化施工操作訓練及びインフラDX体験を実施する予定。

令和4年度 操作訓練概要



【長崎県南島原市深江町地先（水無川2号堰堤内、大野木場砂防みらい館）】

◇開催日：令和4年11月9日

◇参加者数：約19名予定・・・各県建設業協会に今回の趣旨を説明し、参加者を募集。

◇内容：オペレータ、管理技術者、現場代理人等を対象とした無人化施工（遠隔操縦式バックホウ及び遠隔操縦式クローラダンプ）の操作訓練。

（参考）令和3年度 訓練状況



遠隔操縦式バックホウ操作 （直接目視方式）



遠隔操縦式バックホウ操作 （モニター方式）



可搬式遠隔操作室内